サポート情報記事

Policy Acknowledgementのページを作成しWebパーツを接続する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

ページ一式を作成する 4

接続を設定する 4

閲覧画面と戻るリンクを設定する 5

リンク共有前にページ間の流れを計画する 5

ページ遷移の問題を診断する 6

公開したページをテストする 7

ポリシーハブを準備したら、従業員と管理者が使用するページを作成します。SharePointページの編集権限が必要です。セットアップウィザードはストレージを準備しますが、このページ構成は作成しません。

ページ一式を作成する

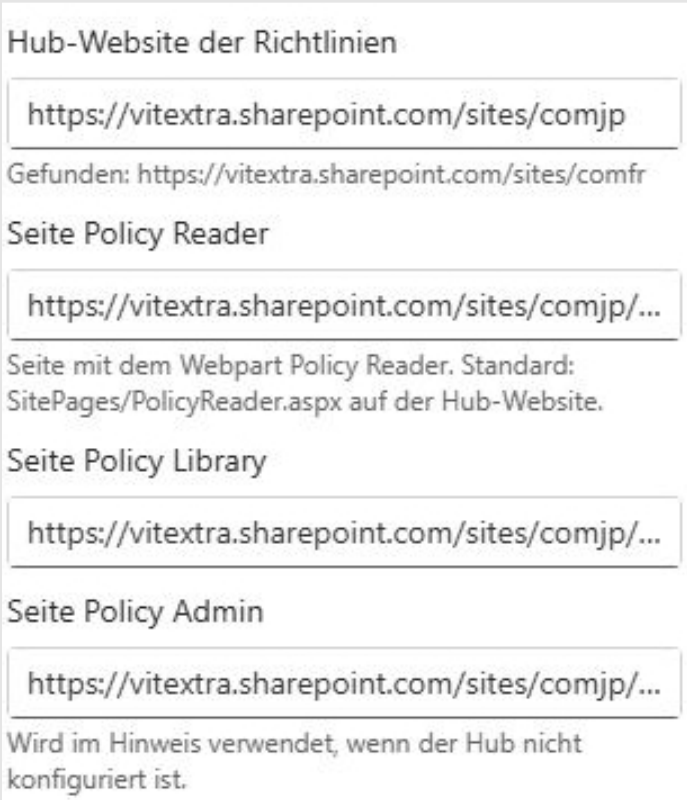
各Webパーツを適切なSharePointページに追加し、設定を保存して、意図した対象者向けにページを公開します。

Webパーツ	推奨する配置先
Policy Admin	管理ページ。
My Policies	従業員の開始ページ。
Policy Reader	選択した割り当てを開く共通ページ。
Policy Library	参照可能なポリシーカタログ。
Policy Manager	ポリシー所有者とコンプライアンス管理用のページ。
Compliance Dashboard	レポートページ。
Team Compliance	チームの上司向けページ。
Pending Policies Bar	イントラネットのホームページなど、頻繁に参照するページ。

接続を設定する

1 Webパーツを編集し、**接続**を開きます。
2 **ポリシーハブサイト**に選択したストレージサイトを設定します。空欄ではハブの自動検出が要求されます。明示的に設定すると、意図した接続先が明確になります。
3 設定できる場合は、**Policy Readerページ**にPolicy Readerを含むページを指定します。
4 ライブラリへのリンクを使用する場所では**Policy Libraryページ**を、管理案内には**Policy Adminページ**を設定します。
5 同じハブを使い、他のWebパーツでも繰り返します。

閲覧画面またはライブラリのURLが未設定の場合、ハブ上の`SitePages/PolicyReader.aspx`と`SitePages/PolicyLibrary.aspx`を使用します。これらのページは実際に存在する必要があります。



My Policiesをハブと閲覧画面に接続する

閲覧画面と戻るリンクを設定する

Policy Readerはページ URLから`policyId`を、割り当ての場合は`assignmentId`も受け取ります。共通の閲覧ページでは**固定ポリシーID**を空欄にします。固定のポリシーIDは、`policyId`が指定されない特定ポリシー専用ページにのみ使用します。

戻るリンクを提供するには、Policy Readerの**My Policiesページ**を設定します。Pending Policies Barでは同じ設定によってバナーからMy Policiesに移動します。未設定の場合は、最初の未完了のポリシーを開きます。

リンク共有前にページ間の流れを計画する

必須の作業にはMy Policies、閲覧にはPolicy Libraryを入口として使います。どちらも共通のリーダーにつながりますが、ライブラリを訪問するだけでは割り当ては作成されません。入口を明確にすると、従業員は参考資料を見ているのか、期限のあるタスクを見ているのかを理解しやすくなります。

通常、リーダーページは多くのポリシーで再利用できます。移動先URLから識別子を読み取り、該当する内容と割り当てを読み込みます。所有者がポリシーを公開するたびに、別のリーダーページを作る必要はありません。特定ポリシーに固定した専用ページは別の選択です。そのような移動設計が目的の場合にのみ使い、割り当てリンクの解決方法もテストしてください。

たとえば、従業員の開始ページをポータルのナビゲーションに置き、共通のリーダーページをハブに置いて、任意閲覧用のカタログリンクを提供します。作成者とレポート利用者には、それぞれ適切な開始ページを用意します。これはページ構成の提案であり、従業員に管理ナビゲーションを公開する要件ではありません。

ページ遷移の問題を診断する

状況	最初の確認
移動先ページを開けない	ページが存在し、公開され、ユーザーがアクセスできることを確認します。
リーダーが目的のポリシーを表示せず開く	リンクのポリシーと割り当て識別子、およびリーダーの固定ポリシー設定を調べます。
想定外のレコード集合が表示される	移動元と移動先のページで、解決されたハブと設定済みハブURLを比較します。
ポリシーは開くが文書は開かない	ソースURLを独立してテストします。移動操作でコンテンツ権限は付与されません。
戻るリンクがない、または誤っている	リーダーに設定されたMy Policiesページのアドレスを確認します。

単にリーダーのURLを開くだけでなく、アプリケーションの実際のリンクを通して移動をテストします。固定ポリシーやURL識別子がないリーダーには、表示する選択項目がありません。一方、他の従業員の割り当てへのリンクは、その人として操作する仕組みではありません。リーダーは現在のユーザーに該当する割り当て

を解決します。

ページの名前変更や移動を行った場合、そのページにリンクするWebパーツを見直します。設定されたページアドレスは保存値であり、移動経路の変更後に自動検出される保証ではありません。移動先の更新後は、個人ページ、ライブラリ、バナー、キャンペーン関連のリーダーリンクを再テストします。接続を変更したらページを再読み込みし、キャッシュされたハブ解決がテストを混乱させないようにします。

公開したページをテストする

パイロットの従業員としてMy Policiesから割り当てを開きます。正しいポリシーが開くこと、戻るリンクが動作すること、ライブラリのリンクが意図したページを開くことを確認します。管理ページとレポートページは、それぞれのロールで確認してください。

メモ

アクセスグループには、製品のロールを一元管理する仕組みが説明されています。対象者に対してWebパーツを非表示にしても、SharePointデータの権限は付与も取り消しもされません。KB10500. Policy Acknowledgementのロールと権限を設定する方法に従ってロールを別途設定してください。